

# 春の三者総会議事録

文責：2004 年度 三者事務局（東北大学）

2004 年 4 月 9 日

## 1 2004 年度三者センター校からの報告

最初に、予算案の報告がなされ承認された。また、原子核談話会からの協賛が承諾されたことも報告された。

予算に関して三者準備校から、O.H.P などの機材のレンタル費用を節約するため、それぞれのパート準備校が機材を自分達の研究室から持ってきて欲しいとのお願いがあった。またこれに関連して、パート準備校が持参した機材が損傷した場合どうするかという意見があり、これに関して議論を行なった。挙げた意見は、

- 保険に一時的に加入すればいいのでは。
- 三者準備校の予算が限られているので、特に機材の弁償は考えていない。
- 一昨年木島平で行なった時は、今回同様それぞれのパート準備校が機材を持参したが、機材の損傷に対する保障まで考えていなかった。

などである。最終的に、パート準備校がそれぞれの責任の下、機材の管理を行ない（必要なら保険に加入し）、三者準備校が機材の損傷に対する保障はしないということでもとまった。

次に、三者総会出席費用に関して（議案 1.6）提起された。あわせて、役職校旅費補助アンケートの協力要請があった。以下、質疑応答を載せる。

質問：役職校旅費補助を受けられるのはどの範囲までか？

解答：議題の提起などで三者総会に出席しなければならない人。

質問：アンケートの範囲は？ yonupa-ml にも流したほうがいいのでは？

解答：旅費補助は役職校のみが関係するので、アンケートは役職校にしか流していない。広く知らせることにしては検討する。

質問：どれくらいの予算規模か？

解答：今アンケートで調べている。

アンケートを集計後、夏の学校での三者総会で旅費補助の是非を決めることになった。

## 2 2004 年度三者準備校からの報告

日本物理学会からの協賛が承諾されたことが加えて報告された。以下、質疑応答を載せる。

質問：参加費はいくらか？

解答：例年どおり 3000 円。

質問：セクハラ対策は三者準備校が行なうことになったが、何か準備しているか？

解答：今は何もしていない。夏の学校では、開校式で注意を促したり、相談箱の設置を行なったりする。

三者準備校から懇親会では酒を出す予定であること、それ以外の日は、例えば、酒を飲むための部屋を用意してみること、これらに関しては従来の議論を踏まえ執り行っていくことが伝えられた。

また、各パート準備校に対して、ポスターを作るために講義予定を早急に三者準備校に報告してほしいとの要望が伝えられた。これに関して、高エネルギーパートでは夏の学校の期間をどうするか検討中であることが報告された。

以上。